

アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されておられません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます**

感染情報

中国山東省衛生庁は6日、同省内で手足口病に感染した患者数が1万1,489人(累計数)に上り、そのうち死亡者は15人に達したと発表した。回復した患者は7,117人。同省では作業部会を設立したほか、各医療機関の責任者に事態を注視するよう呼びかけている。中国衛生部の発表によると、今年1月から3月26日までに中国全土で4万1,846人が発症し、そのうち18人が死亡した。手足口病は乳幼児や小児を中心にみられる疾患で、手のひら、足の裏、口の中の発疹や水疱が特徴。一般的には発熱を伴う軽い病気で、ほとんどが1週間程度で自然に治るものの、まれに髄膜炎などを併発し、入院が必要となるケースもある。今回の流行では、エンテロウイルス(EV71)が主流となっているとして、在中国日本国大使館も7日、在留邦人に注意を呼びかけている。

鹿児島県健康増進課は13日、小中学校各1校でインフルエンザとみられる集団感染があり、14~15日に学級閉鎖される、と発表した。4月に入り、夏日も記録する陽気だが、「低下傾向にはあるが、発生件数は例年と比較してまだ高い」として、引き続き、うがいや手洗いなど予防の励行を呼び掛けている。同課によると、今季の集団発生は13日午後3時現在で86件。昨年同期比62件増と、流行した。学級閉鎖は、薩摩川内市立隈之城小(713人)の2年1学級と、湧水町立吉松中(98人)の2年1学級。

クレーマー情報

2004年に外装に斑が出てきたと大阪の志村と名乗る人からクレームが入りました。アークフラッシュ本部では、早速、工事した代理店とともに状況を見に社員を派遣し状況を報告させましたが、斑なる所は発見されませんでした。当の本人が斑が有る有ると騒ぎ、施工保険を対応させて再度、下地から塗装をやり直しして、アークフラッシュは施工しないでおきました。再度再度にアークフラッシュにクレームを付けてくる恐れが有ったからです。志村様にも再度塗装工事が終わった段階で斑は存在していないと確認署名して頂き、本日に至りましたが、斑があるから再度工事したいとアークフラッシュ本部ではなく、関西の施工代理店にアークフラッシュを施工した壁が斑が発生しているので工事の依頼が有ったようです。やはり!!あれから5年、そろそろ壁が汚れてきたので又、又、無償で塗り直しを策略していると感ずきました。

施工代理店の皆様、要注意してください。アークフラッシュをしていなくても、アークフラッシュで斑が出たと言う方々がいる事を

静岡県袋井市友永の介護医療施設「袋井みづかわ病院」(滝沢茂夫院長、260床)で今月初め、インフルエンザによる院内感染が発生。入院患者9人と職員2人の計11人が発症し、うち患者2人が死亡したことが分かった。病院によると、5日に男性患者(60)が発熱。抗ウイルス薬「タミフル」の投与で熱が下がったが5日後、肺炎を起こし死亡した。8日に発症した女性患者(76)も同様の経過で死亡したという。院内発症は9日に終息。ほかの感染者は快方に向かった。検査の結果、B型インフルエンザと判明した。県などには届けなかった。滝沢院長は「症状が良くなった後で亡くなっており、死亡原因と感染は直接関係ない」と考える。職員らへのワクチン接種で院内感染の予防措置はしている。来院者から感染した可能性が高い」と説明している。同病院は病気や事故の後遺症などを治療。約230人の入院患者がいる

*アークフラッシュ施工の老人施設で9年間もインフルエンザが発生していないのをご存知ですか?!!

日本相撲協会車両施工

以前に武蔵川部屋の力士の禪や武蔵丸の車両のアークフラッシュ加工を行っておりましたが、今回、嫌煙家の武蔵川理事長の理事長車を加工する事になりました。相撲好きのユーザーがいるときには是非、この話題で仕事を手にしてください。

ナノバブル水素水

医科大学を中心に色々な試験を行っておりましたが、この度、その中間報告がありました。

なんと

考えられないような事態が起こっております。

1.ドライアイについて

水素ナノバブル水でドライアイの患者が目を洗うと劇的に改善される

2.火傷の治療

火傷を負った時にガーゼで覆い、水素ナノバブル水を浸しておくとも患部が火膨れなどにならないで痛みも無くなり元の皮膚に再生する

(昨日、自分で火傷をしてそのように行いましたら、火傷の後も痛みもありませんでした)

3.溶接やスキーで紫外線により目を傷めたときに水素ナノバブル水を目薬のように使用したところ、すぐに完治した。

4.日焼けの後のケアで使用したところ日焼け特有の皮膚の剥けが無かった

5.大腸ガンと診断され人口肛門の手術が必要と言われた患者が、水素ナノバブル水で浣腸し、一日1リットルを飲料したところ6ヶ月で完全に癌が消えてしまった。

さまざまです。購入希望者には弊社から市場価格よりもかなり安価でお分けいたします。

大阪府は21日、府内の小学校や保育所など4施設で、主にノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎の集団発生があり、19日までの1週間に121人が感染したと発表した。ノロウイルスは冬季に活発で、春先としては感染事例が多いため、府は手洗いや食品の十分な加熱を訴えている。八尾市内の小学校では、14日から嘔吐(おうと)や下痢の症状を訴える児童が増え、16、17日に2学年を学年閉鎖した。同様の症状を訴えた児童は64人に上ったが、いずれも快方に向かっている。豊中市内の保育所では、乳幼児に多いロタウイルスに園児20人が感染。1人が入院した。

三重県伊賀市の診療所「谷本整形」で08年6月、点滴を受けた患者が次々に体調不良を訴え女性(当時73歳)が死亡した事件で伊賀区検は21日、谷本広道院長(58)を業務上過失致死傷の罪で伊賀簡裁へ略式起訴した。起訴状によると谷本被告は、看護師らがセラチア菌に汚染された消毒綿を使って点滴を作り置きするなど、ずさんな衛生管理をしているにもかかわらず、そのことに気付かずマニュアルを作成するなど院内感染を防止する注意義務も怠った。その結果、08年6月9日に点滴を受けた女性が、10日にセラチア菌感染による虚血性心疾患で死亡。ほかの患者8人にも敗血症の軽傷を負わせたとしている。

*** 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-8860 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。